

キャラクター名 カイゼル=フラン=シューマツ プレイヤー名 _____

種族	シャドウ	種族特徴	暗視/月光の守り		
生まれ	戦士	性別	男	年齢	18歳
冒険者Lv	17	経歴	誰かを救った事がある。		
経験点	3435		競い合う友人がいた。 始まりの剣を求めている。		

技	15	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	6	45		66 + 2	11		ファイター		17
体	9	敏捷度	4	1	-6	14	2	グラップラー	3	レンジャー	10
		筋力	10	44		63 + 2	10	エンハンサー	11	アルケミスト	3
心	3	生命力	8	50		67	11	ライダー	17		
		知力	10	1		14	2				
		精神力	12	25		40	6				

戦闘特技				言語			会話	読文
タフネス	2122 p	頑強	IB29 p	交易共通語	○	○		
追加攻撃	220 p	防具の達人	IB32 p	魔動機文明語	○	○		
投げ攻撃	225 p	かばう	IB36 p	シャドウ語	○	○		
バトルマスター	3143 p	なぎ払い	IB38 p					
治癒適性	2122 p	超頑強	IB29 p					
不屈	2123 p	マルチガード	IB32 p					
ポーションマスター	2123 p		p					
武器習熟/アックス	221 p		p					
防具習熟A/金属鎧	IB31 p		p					
全力攻撃	IB36 p		p					
防具習熟S/金属鎧	IB32 p		p					

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ	HP強化	パークメール
ビートルスキン	人馬一体	ヴォーパルウェポン
マッスルベアー	超高所攻撃	クリティカルレイ
ストロングブラッド	特殊能力解放	
ジャイアントアーム	獅子奮迅	
デーモンフィンガー	騎獣強化	
リカバリィ	極高所攻撃	
メディテーション	騎獣超強化	
アンチボディ	特殊能力完全解放	
トロールバイタル	騎獣の献身	
ヘルシーボディ	HP超強化	
チャージ	縦横無尽	
高所攻撃	潜在覚醒	
探索指令	超越騎獣	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	17	28	19	27
グラップラー	3	14	5	13
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要		ランク		筋力	回避力	防護点
鎧	エンペラーズマイト		33	-1	16			
盾	グランドパートナー		21		4			
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)								4
回避技能	ファイター		合計値	18	26			

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
深淵の斧槍(レイジングアビス)	振2H	30	2	2d+ 30	11	30	58											
深淵の斧槍(レイジングアビス)	突2H	30	2	2d+ 30	10	30	55											
トライデント	1H投	25	1	2d+ 29	10	29	25											
グランドアックス	1H両	20	2	2d+ 30	11	30	35											
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	14 m	42 m	2d+ 18	26	165						
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+ 19/×	2d+ 0	2d+ 28	2d+ 29	42							

装備品	説明	装備品	説明
頭 決死の鉢巻き			
耳 石人の耳飾り	敏捷-6、防護点+1		
顔 不敵の仮面			
首 勇者の証【体】			
背中 野伏の英雄のマント	ブレス攻撃のダメージを-2		
右手 筋力の腕輪		ウェポンホルダー改	
腰 真・ブラックベルト		左手 器用の腕輪	
足 軽業ブーツ			
その他アルケミーキット			

その他メモ	自動失敗
サンタリア連合王国の王位継承権第八位の青年。元女王の兄の長男にあたる人物。数年前にあった戦争に騎士として参加しており、様々な武功を打ち立てている。	チェック
一般的な騎乗兵の武装である騎乗槍と大盾という装備をせず、「自分には綺麗な武器ではなく、武骨な武器の方が馴染む」とハルバードを手にヒポグリフに跨り戦場を駆け抜けていた。	□□□□⑤
唯一無二とも言える親友は神官騎士であったが、戦場で彼が死んだのを機に「神の加護があっても死ぬときは死ぬ」と悟り、それ以降は神に祈ることを止めた。彼は神を軽んじているわけでも、侮っているわけでもない。ただ、祈る事は自身にとってのためににはならないと思ってしまったのだ。	□□□□⑩
王族であるカイゼルにとって、民は守るべきものである。全ての善良なる者は彼にとっての民であり、初めて会った人物でさえも彼が善良な人物だと判断した者は全て守るべき対象であり、友人と言える。	□□□□⑮
戦争以降、彼は本心から笑うことがない。戦場で命を落とした者、救えなかった者の全てを明確に記憶している彼は、心から笑う事が出来なくなってしまったのだ。しかし、彼は他者の幸せを尊ぶ性格である為、常に道化のような態度を心掛けている。例え、自分が心からの笑み	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

